資料 27

（仮称）足立区住生活マスタープランの目指すべき姿・基本目標（案）

新基本構想

将来像

協創力でつくる　活力にあふれ　進化し続ける　ひと・まち　足立

４つの視点

- 【ひと】多様性を認めあい、夢や希望に挑戦する人
- 【くらし】人と地域がつながる安全安心なくらし
- 【まち】真に豊かな生活を実現できる魅力あるまち
- 【行財政】様々な主体の活躍とまちの成長を支える行財政

基本計画（策定中）

A 自己肯定感をもち、生き抜く力を備えた人
- ①家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
- ②妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える

B 自ら考え行動し、その成果を地域に活かす人
- ③生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動を地域で実践できる仕組みをつくる
- ④多様な個性やライフスタイルを認めあう風土を醸成する

C 地域とともに築く、安全なくらし
- ⑤区民の命や財産を守り、くらしの安全を確保する
- ⑥環境負荷が少ないくらしを実現する

D いつまでも健康で住み続けられる安心なくらし
- ⑦高齢者、障がい者などの生活のサポート体制を充実する
- ⑧健康寿命の延伸を実現する

E 地域の個性を活かした都市基盤が整備されたまち
- ⑨災害に強いまちをつくる
- ⑩便利で快適な道路・交通網をつくる
- ⑪地域の特性を活かしたまちづくりを進める

F 活力とにぎわいのあるまち
- ⑫地域経済の活性化を進める

G 区民の活躍とまちの活力を支える行財政
- ⑬多様な主体による協働・協創を進める
- ⑭戦略的かつ効果的な行政運営と情報発信を行う
- ⑮区のイメージを高め、定住者や来街者をふやす
- ⑯次世代につなげる健全な財政運営を行う

（仮称）住生活マスタープラン

目指すべき姿（案）

ともに創り　住み継がれる　魅力ある地域と豊かな住生活　足立

多様な人々が互いの役割を果たし、まちを創り動かす「協創力」により、３０年先も住み継がれていく足立を目指して、ハードとソフトの視点から取り組み、豊かな住生活を実現していく。

４つの基本目標（案）

基本目標１
【ひと】住みたい・住み続けたい足立で多様なライフスタイルを実現する

- 足立区生まれ・育ちの区民を増やす、若年世帯を呼び込む、三世代近居を推進するなどにより、バランスのとれた人口構造を適切に維持することを目指す。
- 多様な人々が互いに刺激し高めあう住生活のために、多様なライフスタイルが実現できる環境づくりを推進する。

基本目標２
【くらし】地域が見守り支えあい安全・安心に住まう足立のくらしを磨く

- 足立の先進的な安全・安心に関するハード面とソフト面の取り組みを、地域の見守りや支えあいにより一層高める。
- 住み慣れた地域や住まいで、住民がお互いに支えあうことができる安全・安心なくらしづくりを推進する。

基本目標３
【まち】区民が足立らしい地域の魅力を発見し誰もが住みやすいまちを育てる

- 区民が自分の住む地域の魅力を発見し、その魅力を行政とともに区内外に発信することで、誇れるまちをつくる。
- 環境にやさしい住まいづくりや住まいの適切な維持管理などにより、良質な住宅ストックの形成を推進する。

基本目標４
【行財政】公共住宅等ストックを資源に

地域に開き連携する足立の新たな活力につなげる

- 公営住宅、ＵＲ、ＪＫＫなど公共住宅ストックを地域の資源としてとらえ、公共住宅の建替えに伴う創出用地などを地域貢献する場所とし、新たな活力をつくる。
- 区施設や学校など公共施設の再編と連動した住宅施策を展開し、地域の住環境の改善を図る。